



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第513号

2021年7月19日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

説明会の開催を求め教育委員会に要望書提出

情報の公開と説明責任は民主主義の基本です。八千代市教育委員会は「阿蘇・米本小中一貫校」について、コロナ禍を理由に地域住民への説明会を昨年の6月以降一年間、一度も行なっていません。また、8回開催した「設立準備委員会」の報告・説明会もいまだに、開催されていません。「阿蘇・米本の地域と学校を考える会」は、6月17日に教育長に要望書を提出しました。その内容は①阿蘇小・米本小・阿蘇中の3会場で経過説明会を大至急開いてください。②設立準備委員会を地域住民に開かれた委員会にしてください。そのために地域参加者も自由に意見が言えるように進行してください。

地域の声に応えようとしない教育委員会

教育委員会は、この要望に対し「これまで、設立準備委員会だよりや教育委員会ホームページにおいて、協議内容や会議の重要事項は全て伝えています。進捗状況も引き続きこれらの媒体で情報を広く伝えます。今後、開校に係る保護者説明会を開催します。」と回答してきました。

どれだけの方がホームページを見るでしょうか。実は設立準備委員会だよりの1月号と6月号と一緒に7月に配布されたのです。保護者会も総会もない中で詳しい情報が伝わるとは思えません。

「学童保育所を米本団地に残してほしい。」「通学バス代は無料になるのか。」「狭い校舎に小学生と中学生の同居は無理だ。」「避難場所を団地からなくすのか。」「増改築をすると思っていたのに話が違う。」「米本南小は残るはずではないのか」等々今すぐにでも保護者にとっても子どもたちにとっても知りたい情報ばかりです。

小中一貫校によるメリットや問題点を明らかにすべき

不誠実な回答に対して「考える会」の人たちと伊原議員は、再度7月7日に教育委員会と交渉をしました。6月議会でも地域の説明会を開催することを要望しましたが、教育長からの誠実な回答がありません。このままでは子どもたちが犠牲になってしまうのではないかと危惧している保護者・住民の声を届けるために大至急説明会を開くことを強く要望しました。コロナ禍を理由にするなら住民の理解が得られていない小中一貫校計画は凍結すべきです。

